

協定内容

面積	田	畑	草地	協定参加者
11ha	11ha	—	—	9人
交付金総額 285万円	個人配分 (0%)	なし		
	共同活動 (100%) 285万円	役員報酬等	8万円	農道・水路管理 195万円
		多面的機能増進活動 (景観作物)		10万円
		その他	72万円	

山間部での水稲作付け

小松倉集落は階上町西部の山間に位置し、11haの水稲を作付けしています。

山間のため、大雨や大雪等で水田や水路に被害を受けやすく、その度に町の災害復旧事業や、自力での復旧作業を実施してきました。



未整備水路の清掃

協定締結に向けた検討

町から制度の説明を受けて集落内では数回の検討会議を行い、出された意見を集約した結果、重点課題として取り組む必要があるのが水路の整備であるとの結論に至り、この交付金のほとんどを振り向け、将来とも安心して耕作できる環境づくりをめざすことにしました。

長年の課題を解決

当地区の用排水路は、取水口から排水口まで約1.5キロあり、そのうち約90%が未整備のままとなっています。

工事費の見積もりを取ったところ、約2,000万円と言われたことから、交付金に自己資金を加え、集落で力をあわせて自力施行することにしました。

平成13年度の交付金で中古のU字溝を購入しており、平成14年度から倒木や土砂の除去を行い、重機等をレンタルして事故のないよう万全を期しながら5年計画で整備作業します。



購入したU字溝

協定代表者の声



下沢 育男さん (43歳)

交付金を活用することで長年の課題であった水路の整備に着手しましたが、自らの力で整備することによって集落の団結が高まったことが最大の収穫でした。

長期にわたって水路が利用できることから耕作放棄の防止につながることに期待しています